



こんにちは 県議会議員・日本共産党

藤井かつひこ (克彦) です



日本共産党議員控室 TEL 045-210-7882

(神奈川県庁新庁舎7階) FAX 045-210-8932

自宅：相模原市南区旭町15-36-407

TEL・FAX 042-748-6388

携帯 090-2470-8471 Eメール yfe18113@nifty.com

◇相談事やご意見ご要望などお気軽にお寄せ下さい

9月14日(金)、**藤井かつひこ**は代表質問に立ち、県営住宅(空き家対策、建替え、入居の承継) / 県債管理政策 / 特別支援学校における課題 / 私立高等学校等生徒学費補助金の拡充 / 差額ベッド料 / 「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」に税金を財源として一地方自治体が取り組む妥当性 について質問しました。



■私学助成・県学費補助金を県外の私立高校に通う生徒にも ——財源も示して補助対象拡大を求める——

県の私立高等学校等生徒学費補助金は、本年度から、国の就学支援金と合わせて神奈川県内私学の授業料平均額 43 万 2000 円まで補助する、つまり実質無償化する対象が、年収 250 万円未満世帯から年収 590 万円未満世帯へと拡充されました。

しかし、**県外の私立高校に通う生徒はこの学費補助金は対象から外されてきた**という状況については、変わりませんでした。

学費補助の制度趣旨は、教育の機会均等、教育費の負担軽減、県民が高校生活をつうじて学び成長することを支援する、ということのはずです。県民税を神奈川県に納めているのに、子どもが通う学校が県内か県外かで補助の有る無しが分かれるというのは不公平、との声が寄せられています。

一方で**国は 2020 年度までに、「高等学校等就学支援金」を拡充し**年収 590 万円未満世帯を実質無償化するとしています。そうすると、**その分、県の財源が約 25 億円**浮くと想定されています。**その分を財源に、県外の私立高校に通う生徒に補助対象を拡大**

するよう、求めました。

国の実質無償化は、全国平均授業料 39 万円にたいしてであるので、県の補助制度の対象外とされている神奈川県民の高校生には、年収 590 万円未満世帯でも 39 万円までの補助にとどまり、神奈川県内私学の平均授業料 43 万 2000 円との比較では、4 万 2000 円の自己負担が残ることになります。そのほか、年収 750 万円未満世帯への学費補助 7 万 4400 円、入学金補助 10 万円が、県外の私立高校に通う生徒には支給されていない県学費補助金となります(裏面参照)。

それらの県学費補助金を県外の私立高校に通う生徒に支給するのに**必要な予算額**を質問したところ、「**約 7 億円**」と答えました。国の制度拡充で浮く財源 25 億円で**十分まかなえる金額**です。しかし知事は補助対象の拡大については「国の就学支援金の拡充や他自治体の動向も見ながら、将来の研究課題にしたい」との答弁にとどまりました。



【現在の国・県の制度】

県内の私立高校に通う生徒への授業料と入学金補助（国と県）
 （赤の金額は県外私立高校に通う生徒には支給されない）

県外の私立高校に通う生徒への授業料補助

年収の目安	A：国 高等学校等 就学支援金	B：県 授業料補助	C：A+B AとBとの 合計額	D：県 入学金 補助	A：国 高等学校等 就学支援金
約 250 万円未満	297,000 円	135,000 円	432,000 円	100,000 円	297,000 円
約 350 万円未満	237,600 円	194,400 円		100,000 円	237,600 円
約 590 万円未満	178,200 円	253,800 円		100,000 円	178,200 円
約 750 万円未満	118,800 円	74,400 円	193,200 円	100,000 円	118,800 円
約 910 万円未満	118,800 円	対象外	118,800 円	対象外	118,800 円

※赤の金額の部分を県外の私立高校に通う生徒に支給するのに必要な予算額は約 18 億円

【国が補助を拡大した時の県補助制度シミュレーション】

県内の私立高校に通う生徒への授業料と入学金補助（国と県）
 （赤の金額は県外私立高校に通う生徒には支給されない）

県外の私立高校に通う生徒への授業料補助

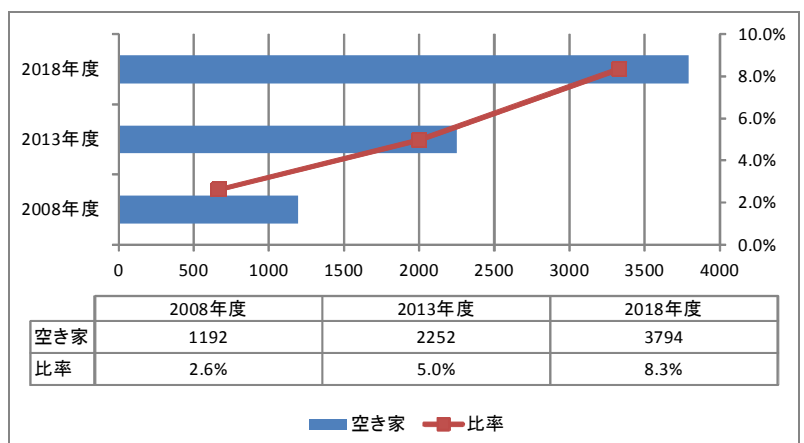
年収の目安	A：国 高等学校等 就学支援金	B：県 授業料補助	C：A+B AとBとの 合計額	D：県 入学金 補助	A：国 高等学校等 就学支援金
約 250 万円未満	390,000 円	42,000 円	432,000 円	100,000 円	390,000 円
約 350 万円未満		42,000 円		100,000 円	
約 590 万円未満		42,000 円		100,000 円	
約 750 万円未満	118,800 円	74,400 円	193,200 円	100,000 円	118,800 円
約 910 万円未満	118,800 円	対象外	118,800 円	対象外	118,800 円

※赤の金額の部分を県外の私立高校に通う生徒に支給するのに必要な予算額は約 7 億円

■ 県営住宅の空き家急増 背景に建替えの遅れが

県営住宅は、2016 年度の定期募集の応募倍率が 6.2 倍、高齢者単身向けは 13.4 倍と、倍率の高い応募がある一方で、空き家が増えています（右図）。また当選者の入居辞退が昨年度は 4 割を超えました。

原因と対策を問うと「老朽化などへの不満」があり、「空き家の解消に向けては抜本的な老朽化対策が必要」と答えたものの、建替えは計画の 2,534 戸に対し 634 戸で、約 25 %と遅れています。エレベーター、洗濯機置き場、給湯設備、浴槽がないなど居住性能が低い住宅が古いまま数多く残されている



のです。県政として建替えについて財政面の裏付けのある年次計画を持たなかったことを反省して改め、建て替えを促進するよう、求めました。